

平成29年度公益社団法人日本小児科医会事業報告

平成29年度の各委員会事業につき報告する

I. 公益目的事業

1. 乳幼児学校保健委員会

(1) 調査研究事業

1) 小児保健に関する諸調査

目的：平成28年度から成長曲線を学校健診の場で積極的に活用することとされ各地で生活習慣病健診が行われるようになって来ていることから、小児生活習慣病の中で学校保健としての肥満への対応について調査を実施し、当委員会・小児科医会の今後の活動の方向性を考える資料とする

内容：学校保健における児童、生徒の肥満への対応に関する調査

方法：アンケート調査

対象者：全会員

実施時期：平成30年1月～平成30年2月

財源：医会経費

結果：会員508名から回答を得た。児童・生徒の肥満に積極的に介入している医師は回答者の約6割を占め、そのうち学校医の介入は4割と積極的な姿勢がうかがわれた。介入の具体的内容については、施設間の差が大きく今後の課題と思われた。

(2) 学術集会及び研修会事業

1) 第7回日本小児科医会乳幼児学校保健研修会

目的：乳幼児保健・学校保健に関する診療技術向上の意義、重要性を啓発する

対象者：日本小児科医会会員、母子保健にかかわる医師、研修医、医学生など

方法：研修会

委託先：JSFIT株式会社

財源：(参加費) 会員10,000円、非会員15,000円 ※研修医と医学生は無料

テーマ：児童生徒の生活習慣病予防について考える

実施時期：平成30年2月11日(日)

実施場所：三井住友銀行東館ライジング・スクエア 3F SMBCホール

参加者：205名

(3) 普及啓発及び支援事業

1) 乳幼児学校保健委員会企画シンポジウム

主催：乳幼児学校保健委員会と富山県小児科医会の共催

目的：学校保健に関連し、会員の日頃の診療、社会活動に資するテーマをとりあげる

対象者：会員

方法：シンポジウム

財源：総会フォーラムの経費

テーマ：講演並びに総合討論。「学校医として知っておきたい歯科、眼科、整形外科の知識」

実施時期：平成29年6月10日(土)

実施場所：富山国際会議場/ANAクラウンプラザホテル富山

2. 学術教育委員会

(1) 学術集会及び研修会事業

1) 第28回日本小児科医会総会フォーラム

目的：小児医療の発展と社会の要請に応える日本小児科医会の各種事業の内容、成果、方向性を周知するとともに、医学・医療の最新知識ならびに技術を習得する場を企画し、小児の保健、医療、福祉の総合的な向上をはかる。

内容：テーマ「社会は子どもたちを育て、子どもたちは社会を育てる」

方法：シンポジウム、教育講演、特別講演、ポスターセッションの開催

対象者：全国の会員、非会員の医師および研修医

参加数：814名

実施時期：平成29年6月10日（土）・11日（日）

場所：富山国際会議場、ANAクラウンプラザホテル富山

財源：本部からの事業予算、参加費、企業展示および企業広告
（参加費）15,000円

委託先：富山県小児科医会

2) 第13回日本小児科医会生涯研修セミナー

目的：小児科領域の総合診療能力の向上と、小児保健・福祉に寄与できる能力の習得を目的に、地域小児医療に従事する小児科医に研鑽の場を提供する。

内容：小児医療、保健、福祉にかかわる最新の知見と情報の提供

方法：教育講演による座学及び会場での質疑応答

対象者：会員、地域で小児医療にかかわる非会員の医師

参加数：496名

実施時期：平成29年10月8日（日）

場所：江陽グランドホテル（仙台市）

財源：本部からの事業予算、参加費
（参加費）事前登録 会員 7,000円・非会員 10,000円、当日参加 10,000円

委託先：宮城県小児科医会

(2) 普及啓発及び支援事業

1) 日本小児科医会公開フォーラム教育講演

目的：健康な子どもから疾病あるいは障害をもつ子どもの子育てに必要な知識や社会支援活動について、子育て世代および子育てにかかわる職種に向けて情報を発信する。

内容：テーマ「子供達の健やかな脳発達のために－最新の脳科学の知見から－」

講師＝瀧靖之（東北大学）。シンポジスト＝中島匡博委員長、佐藤和夫委員、清川輝基委員。

座長＝内海裕美理事、藤澤裕子先生。

方法：市民公開講座の開催

対象者：開催地の市民ならびに医療・福祉、保育・教育・行政等の関係者

実施時期：平成29年6月11日（日）

実施場所：富山国際会議場

財源：本部からの事業予算

委託先：富山県小児科医会

共催：日本小児科医会、富山県小児科医会

3. 子どもとメディア委員会

(1) 普及啓発及び支援事業

(1) 「子どもとメディア」問題に関する啓発活動

1) 子どもとメディア委員会の開催

ア) 全体会議；2回開催

回数	日程	会場
第1回	2017年4月23日	和光堂西新宿ビル
第2回	2017年11月26日	和光堂西新宿ビル

イ) 小委員会；開催無し

2) リーフレット「スマホに子守りをさせないで」を3万部増刷した

3) 子どもとメディア問題啓発ポスター2種の増刷

スマホに子守りをさせないで 1,000部

スマホの時間わたしは何を失うか 1,000部

4) 子どもとメディアの問題に関する懇話会の開催

回数	日程	会場
第7回	2017年4月1日	和光堂西新宿ビル
第8回	2017年7月15日	和光堂西新宿ビル
第9回	2018年3月24日	和光堂西新宿ビル

5) 既存リーフレット、ポスターの啓発、配布

ア) 啓発活動

HPでの啓発。各種イベント会場における掲示、申込書の配布を行う。

イ) 配布

【リーフレット】※原則有料で頒布。

会員、非会員等に約43,000部配布

【ポスター】※無料配布。発送件数；134件（2018年3月31日時点）。

発送枚数：3種合計約5800部

ウ) その他対応（2018年3月31日時点）

	件数
取材・問い合わせ依頼	11件
・対応※1	9件
・辞退※2	2件
引用掲載承認 ／紹介記事※3	28件

4. 子どもの心対策委員会

(1) 学術集会及び研修会事業

(1) 「子どもの心」研修会の開催

1) 子どもの心対策委員会の開催

2017年6月11日、於ANAクラウンプラザホテル富山朱鷺I

2) 第19回「子どもの心」研修会の開催

	日程	会場	受講者数
前期	5月13日、14日	ベルサール新宿セントラルパーク	474名（会員458名、非会員16名）
後期	7月16日、17日	同上	480名（会員467名、非会員13名）

3)子どもの心研修会準備WGの設置及び開催

ア)WGの設置

2019年開催の第21回「子どもの心」研修会企画・運営の為、WGの設置が9月10日の理事会で承認された。

イ)WGメンバー選出

WGメンバー8人が12月10日の理事会で承認された。

ウ)WGの開催

事業計画作成時は開催予定がなかったが、12月10日の理事会にて2017年度内2回の開催が承認された。

第1回	2018年1月18日（木）16:00~18:30	大阪小児科医会事務局会議室
第2回	2018年2月15日（木）16:00~18:00	同上

4)相談医登録

ア)相談医認定審査WGの開催

2017年8月27日、於東京八重洲ホール703

イ)「子どもの心」研修会受講料一部変更

相談医登録者数の維持（更新率向上）及び新規相談医登録者の増加を図る為、相談医の受講料変更案を提出し、12月10日の理事会で承認された。

ウ)新規登録

	2016WG時点申請資格取得者※1	2017WG時点申請資格取得者	計
	30名	151名	181名
申請者	8名	117名	125名
非申請者	22名	34名	56名※2
申請率	26.7%	77.5%	69.1%

※1；相談医更新延長対象者（2名）以外の方には新規申請可能の旨、4月に通知を発送。

※2；内19名は2017年WG後、申請資格喪失。

エ)更新登録

		2016年WG 暫定更新者 3名	2016年WG時 必須研修会受講者※	2017年 更新対象者 155名	計 181名
申請者	正規	75歳以上	4名	4名	8名
		75歳未満	6名	115名	124名
	暫定		1名	1名	
欠番者	75歳以上		4名	4名	8名
	75歳未満		9名	31名	40名
申請率		100.0%	43.5%	77.4%	73.5%

※2016年理事会において当該年度更新対象者欠番者の内、必須研修会の受講記録がある者について2017年更新申請が承認されており、該当の先生には4月に更新案内を発送。

カ)相談医研修単位承認申請への対応

申請件数；43件、承認；42件※1、非承認；1件※2

(2)思春期の臨床講習会の開催

日程；2017年11月19日、会場；日本教育会館、受講者；219名（会員198名、非会員21名）

(3)「子どもの心」相談医カウンセリング実習

各地カウンセリング実習の開催

	日程	会場	受講者数
岡山	8月27日	岡山大学病院総合診療棟西棟5階第13カンファレンスルーム	28名（相談医27名、会員1名※） ※2017/10/1より相談医。
神戸	10月4日	カンセキタワー会議室8号室	28名（相談医23名、会員5名）
旭川	10月22日	旭川赤十字病院会議室	8名（相談医7名、非会員1名）
福島	11月12日	コラッセふくしま302会議室	18名（相談医17名、会員1名）
名古屋	12月10日	ウイングあいち	25名（全て相談医）
東京	1月20日、21日	和光堂西新宿ビル204	21名（相談医18名、会員3名）
下関	2月4日	じねんじょホール※1	28名（相談医27名、会員1名）
金沢	2月18日	しいのき迎賓館セミナールームB	27名（全て相談医）※2
広島	2月18日	広島県医師会	19名（全て相談医）

(4)「子どもの心の診療医」研修会の共催

母子保健指導者養成研修会事業の一環である「子どもの心の診療医」研修会を共催した。本年は委員の派遣等はなく、同研修会企画の際、意見交換を行う形での参画となった。

日程；2017年11月5日、会場；KFCビル3階 KFC ホール、参加者数；162名

(5)「子どもの心」研修会（導入編）の開催

日程；2017年10月15日、会場；JA 共済ビルカンファレンスホール、

受講者；191名（会員150名、非会員41名）

3. 普及啓発及び支援事業

(1)子どもの心の問題・対応・解決のための活動

1)冊子「子どもの心のケアのために」の啓発、配布

ア)啓発活動

主催研修会会場を中心に冊子を広報するチラシを配布した。

イ)配布

	日本語版	英語版※1	中国語版※1	備考
配布	442部	42部	42部	北海道台風被害（2016年）等。

ウ)その他の問い合わせ等に対応

5. 国際委員会

(1) 調査研究事業

1) 在日外国人の子どもの健康に関する情報提供

現在、母子保健事業は市町村事業となっているが、予防接種や乳幼児健診、健康相談の情報提供は自治体によって大きく異なっている。広報手段も様々となっているため、予防接種スケジュールの変更など日本人の親にとっても複雑になっている。

2) モンゴル調査・研究事業

2017年8月10日から15日までモンゴル国・フブスグル県ムルンへ行き、日本からのハートセービングプロジェクト（HSP）の小児循環器検診班と合同で心臓検診を行い、モンゴルでの小児循環器検診で国際委員会がどのような貢献ができるかについて検討を行った。また、現地在住の日本人小児の心臓検診の可能性についても検討した。

(2) 普及啓発および支援事業

1) インターネットによる情報提供

①海外渡航者のための予防接種情報の提供

諸外国の予防接種に関する WHO の予防接種情報の更新を行った。

②海外在留の子どもの保健・健康問題に関する医療相談

国際委員会ホームページ上で行っている「海外オンライン医療相談」は、平成 30 年 3 月 31 日現在で 23 件の医療相談が、国内外より寄せられてそれに対して国際委員会の委員が交代で対応を行った。

③海外での感染症に関する情報提供

海外からの輸入感染症などについてホームページ上で情報の提供を行った。

④ミャンマーで開催された ASEAN 小児科学会参加の折、ミャンマー日本人学校を訪問し学童健康相談を行い。11 家族 14 名からの医療相談を行った。

2) 交際交流事業

①台湾交流事業

平成 29 年 9 月 16 日に台湾・高雄小児科医会の 12 名のメンバーが福岡を訪問し、日本側からは 24 名のドクターが参加して、日本・台湾小児シンポジウムを開催し台湾側から 3 演題、日本側から 3 演題の合計 6 演題の講演が行われ、活発なディスカッションが行われた。

②日本・ミャンマー交流事業

実施方法：

平成 29 年 9 月 21 日から 24 日までミャンマー国・ヤンゴンで開催された ASEAN 小児科学会で開場委員が「Polio & Polio vaccine in Japan」の発表を行い、Ye Myint Kyaw 学会会長（ミャンマー小児科学会会長）と面談を行い今後の学術情報交換について話し合った。

6. 小児救急医療委員会

(1) 調査研究事業

1) 47都道府県の小児救急関連事業のアンケート調査（2017年4～5月）

小児救急研修事業、#8000、家庭看護力醸成、選定療養費、小児かかりつけ診療料

2) 小児救急電話相談（#8000）情報収集分析事業

①事業の概要

- ・厚生労働省医政局の上記事業に応募して小児救急電話相談の研究を行った。
- ・#8000の電話対応、情報収集、情報分析ツールを作成した。
- ・データはcloud（Salesforce）に蓄積される。
- ・今年度は、北海道、埼玉県、富山県、岐阜県、広島県の5道県の協力を得て行った。
- ・次年度も同事業を継続、拡張する予定で、都道府県への依頼書を送付した。

②委員会

- ・2017.04.22、2017.05.21、2017.07.30、2017.09.03、2017.10.22、2017.11.19、2017.12.03、2018.01.28、2018.03.11（9回開催）
- ・厚生労働省、日本医師会、日本看護協会、等と会議を行なった。

(2) 学術集会及び研修会事業

1) 第3回小児救急研修会開催、2017.09.24、全国町村会館

- ・緊急対応を要する児の初期診療と一次救命処置（西山和孝）
- ・開業医に求められる子ども虐待防止活動（渡部誠一）
- ・一次診療場面での子ども虐待対応（溝口史綱）

- ・中毒 110 番問合せ状況～最近の話題（高野博徳）
- ・子どもの障害予防に取り組む（山中龍宏）
- ・#8000 全国データセンター（桑原正彦）

2) 総会フォーラム講演、2017.06.10、富山国際会議場

- ・小児救急医療のピットフォール（市川光太郎）

(3) 普及啓発及び支援事業

1) 第3回家庭看護力醸成セミナー

2017年10月29日（日）岡山県医師会館

テーマ：身につけよう！育てよう！広めよう！子どもを看る力を！

- ・見抜こう、子どもの急変～トリアージで家庭看護力アップを（西山和孝）
- ・小児救急医療情報ツールと家庭看護（渡部誠一）
- ・美作保健所・愛育委員連合会と小児科医による子育て支援出前講座の取り組み（梶 俊策）
- ・小児救急医療適正受診のための出前説明会（平井康子）
- ・岡山県の小児保健医療関連施策について（則安俊昭）
- ・つなげよう家庭へ～子どもを見る力・知る力（洲脇美智子）

2) 第7回地域小児救急全国協議会、2017.06.11、富山国際会議場

- ・小児救急医療政策の変遷
- ・47都道府県の小児救急関連事業のアンケート調査の報告
- ・#8000
- ・小児かかりつけ診療料
- ・家庭看護力醸成
- ・選定療養費

3) 小児救急医療委員会の開催

- ・2017年6月11日（日）
- ・2017年9月24日（日）

4) #8000事業支援要望書

上記要望書を作成して、日本小児科医会と日本医師会、日本小児科学会、日本小児保健協会、日本看護協会、日本小児救急医学会との6団体連名で、2018年3月に、厚生労働省医政局に提出した。

7. 公衆衛生委員会

(1) 調査研究事業

- 1) 全国広域化予防接種実施の進捗状況と問題点（平成 28 年度）
- 2) 抗菌薬の適正使用の推進事業（会長諮問）アンケート調査
- 3) 予防接種推進専門協議会への委員の派遣

全体会議（3回）

第6回・平成29年6月11日、第7回・平成29年11月12日、

第8回・平成30年3月11日

代表者委員会（2回）

第39回・平成29年9月10日、第40回・平成30年1月14日

会場：日本小児科学会会議室

4) 厚生労働科学研究「HTLV-1」母子感染予防に関する研究

「HTLV-1 母子感染を防ぐために」小冊子と簡単なアンケートを医会ニュースNo.65（平成 30

年1月15日発行)に同封して発送した。

5) 委員会

公衆衛生・予防接種リスクマネジメントWG合同委員会

日本小児科医会総会フォーラム時(富山) 1回

和光堂西新宿ビル(東京) 年3回 計4回開催

(2) 学術集会及び研修会事業

1) 第3回予防接種・海外渡航合同研修会

平成29年10月1日(日)

埼玉県県民健康センター(さいたま市浦和区)

テーマ:「今日の日本の予防接種を考える」

参加者:125名

2) 日本小児科医会第28回総会フォーラムでのシンポジウム開催

平成29年6月11日(日)

富山国際会議場

「安全な予防接種を子ども達に-私はこのように工夫している-」

3) 日本小児科医会生涯教育セミナーでの予防接種リスクマネジメント講演

「予防接種過誤の現状とその対策」

(3) 普及啓発及び支援事業

1) 日本小児科医会第28回総会フォーラム会場での予防接種相談ブースの設置・富山

8. 社会保険委員会

(1) 調査研究事業

(1) 小児科診療報酬の研究調査

1) 小児科診療報酬体系の問題点と今後のあり方の研究

日本小児科医会社会保険委員会・社会保険小委員会、日本小児科医会社会保険委員会全国委員会を開催した。また内科系学会社会保険連合例会・小児関連委員会、日本医師会社会保険診療報酬検討委員会に出席して現在の診療報酬体系における小児科診療報酬体系の問題点と今後のあり方について検討を行なった。

2) 診療報酬改定への取り組み

平成30年度診療報酬改定に向けて、外来小児医療の要望の整理・重点項目の選定を行ない、小児医療に関する要望書を、日本小児科学会社会保険委員会と共同で内科系学会社会保険連合・日本医師会・厚生労働省に提出した。

(最重点項目)

- * 外来小児医療は、①小児かかりつけ診療料の見直し:施設基準の変更、初診料の増点、小児かかりつけ加算(新設)の導入、除外特例項目の追加、算定要件の変更等要望
- ② 診療情報提供料(I)の見直し:紹介先対象拡大と内容が複雑なものは、別個加算算定とする。小児科外来診療料の除外項目に加える。
- ③小児科外来診療料の見直し
- *入院小児医療は、虐待に対する診断料の新設、小児特定疾患カンセリング料の見直しを検討。

医療計画に記された小児医療提供体制の内容に沿った各指数の見直しを提案する。小児入院医療管理料の見直し(入院基本料等加算の一部を包括外とする)も要望として検討。

3) 診療所小児科の医療経営に関する研究

平成 29 年度の調査対象は小児科医会 A 会員の奇数番で実施。

4) 開催委員会

i) 社会保険委員会

①第 1 回日本小児科医会社会保険委員会

平成 29 年 6 月 11 日 (日) ANA クラウンプラザホテル富山 4 階「千鳥」

1. 委員交代

2. 日本医師会報告

1) 診療報酬検討委員会：次回の診療報酬改定における小児科の要望事項のまとめ

2) 平成 28 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査の結果【小児科調査表】

3) 第 3 回社会保険診療報酬検討委員会報告

4) 日医総研ワーキングペーパー(かかりつけ医機能と在宅医療についての診療所調査結果(2016 年 11 月実施)) 小児のかかりつけ医の項目について

3. 日本小児科学会報告

「平成 30 年社会保険診療報酬改定に向けた小児医療に関する要望書」を作成した。

4. 三重県小児科医会から「福祉医療費助成現物支給化」の問い合わせについて

5. 平成 29 年度診療所小児科の医業経営実態調査アンケート調査について

②第 2 回日本小児科医会社会保険委員会報告

日時：平成 29 年 10 月 15 日 (日) 和光堂西新宿ビル 2 階会議室

1. 日本医師会 第 6 回社会保険診療報酬検討委員会

1) 診療報酬要望事項：

日本医師会社会保険診療報酬検討委員会の最重点要望事項に①かかりつけ医機能の推進(小児かかりつけ診療料の要件緩和)②小児医療の充実(処置・検査に対する加算、虐待児に対するチーム医療の評価)③外来管理加算の算定要件の見直し④診療情報提供料(I)の対象拡大(行政・保健・教育・福祉関連機関への情報提供に関する評価)④感染症免疫学的検査の要件緩和(ノロウイルス、RS ウィルス抗原定性の年齢制限撤廃、hMPV 抗原定性の画像診断要件撤廃)を入れた。

2) 「かかりつけ医」と「かかりつけ医機能」について。

3) 診療所の医業収入と医療費の動向について

2. 医療技術評価提案書の厚労省ヒアリング報告 7 月 25 日 (火)

3. 平成 29 年度診療所小児科医業経営実態調査アンケート結果について(中間報告)

4. 各地区の乳幼児健診委託料について

5. 日本小児科医会委員会規則の変更について

6. 社会保険診療報酬支払基金統計月報の HP 掲載について

7. 小児科療養指導料と乳幼児育児栄養指導料について

8. 平成 29 年度社会保険全国委員会について

9. 各地区・委員報告

③平成 29 年度公益社団法人日本小児科医会 社会保険全国委員会

平成 30 年 2 月 25 日 (日) 和光堂西新宿ビル 2 階 204 会議室

1. 特別講演

講師：日本医師会常任理事 羽鳥 裕先生

演題：「専門医の仕組みと診療報酬改定 2018 について」

2. 報告・協議事項

1) 日本小児科医会社会保険委員会報告

①委員会の開催②次回診療報酬改定における小児医療に関する要望書を、小児科学会社会保険委員会と共同で内科系学会社会保険連合・日本医師会・厚生労働省に提出。③医療技術評価提案書を、内保連を介して厚生労働省に提出。7月25日社会保険委員5名が厚労省のヒアリング。④日本医師会社会保険診療報酬検討委員会・内科系学会社会保険連合会議・内保連小児関連委員会・日本小児科学会社会保険委員会等に日本小児科医会代表の委員として出席。⑤平成29年度診療所小児科医業経営実態アンケート調査の実施と集計、および報告書の作成。⑥厚生労働省医療課の実務担当者とは小児科学会社保委員と共に面談・メール等で意見の交換。

2) 日本小児科学会社会保険委員会報告

小児診療にて知っておくべき診療報酬・保険診療の知識に関してのテキストを刊行。

3) 日本医師会社会保険診療報酬検討委員会報告

日本医師会は小児かかりつけ診療料の要件緩和を最重点要望事項のトップ項目とした。

4) 平成29年度診療所小児科の医業経営実態調査報告

A 会員偶数番で回収率は22.7%と低い結果。

5) 平成30年度診療報酬改定について

今回の改定では、「医師の負担軽減のため、医療従事者の多様な働き方を支援する。」

「かかりつけ医機能の評価。」「抗菌薬の適正使用の推進。」主なるテーマだった。個別改定項目の中で主な小児科関連事項として、①小児かかりつけ診療料の見直し ②小児科療養指導料の見直し ③かかりつけ医機能を有する医療機関における初診の評価（初診料機能強化加算80点） ④発達障害に対する診療の評価（小児特定疾患カウンセリング料の見直し） ⑤かかりつけ医と連携した小児の運動器疾患に対する医学的管理の評価 ⑥外来における妊婦加算の新設 ⑦外来診療等における抗菌薬の適正使用の推進（小児抗菌薬適正使用支援加算80点） ⑧一般名処方加算の見直し

9. 少子化対策子育て支援委員会

(1) 調査研究事業

○記者懇談会 日本プレスセンタービル9階日本記者クラブ会見場（千代田区内幸町）

第1回・12月6日（水）

テーマ「メディア漬けで壊れる子どもたち～スマホ社会の落とし穴」

第2回・平成30年4月4日（水）

テーマ「ワクチンの基礎的な理解と提案」

(2) 普及啓発及び支援事業

1) 健やか親子21事業（第2次）

①参加団体の活動状況及び活動予定の提出（平成29年4月26日）

当会の活動予定

テーマ1「国民への普及啓発・情報発信等」

- ・厚生労働省、日本医師会の「かかりつけ医制度」推進の動きに本会会員も更に対応できるように、啓発、支援をすすめたい。
- ・子どもたちの健やかな成長・発達を願い次世代につなげていくことを目指して、その目的に向けた包括的な成育基本法の制定運動を引き続き各方面に行う。

テーマ2「育児支援等」

本会の会員や地域総合小児医療認定医のあるべき姿と identity を国民に示すため、総会フォーラムや生涯研修セミナーの開催、各地区小児科開催研修会への協力指導を行う。たとえば、小児救急医療委員会の0次救急の家庭看護力醸成、0.5次救急となる#8000電話相談と全国

相談センターの開設、1次救急体制の強化・補完への方策、高次救急への協力など、そして海外邦人小児への健康管理など、部門を超えて有機的に結びつけた事業を行う予定である。

②平成 29 年度健やか親子 21 推進協議会

日時：平成 30 年 2 月 28 日（水）

場所：中央区立日本橋教育会館

内容：アワードの表彰式

厚生労働大臣賞「手のひらに小児科を。小児科オンライン」キッズパブリック

③第 2 回健やか親子 21 「サロン」

日時：平成 30 年 3 月 23 日（金）

場所：千代田区文化産業信用組合

内容：参加企業・団体など異業種関係者の集い

2) 関係諸団体との連携

①日本小児医療保健協議会（6 回）（平成 29 年度日本小児科医会幹事）

第 178 回（5 月 17 日）、第 179 回（7 月 19 日）、第 180 回（9 月 20 日）、

第 181 回（11 月 15 日）、第 182 回（平成 30 年 1 月 17 日）、第 183 回（3 月 7 日）

各会の活動内容を報告し、各合同委員会の活動、予防接種、専門医制度や厚生労働省など行政への要望書等協議。次年度は日本小児科学会が幹事。

②日本小児医療保健協議会合同委員会

i) 小児科と小児歯科の保健検討委員会（5 回）

第 72 回・5 月 9 日（火）、第 73 回・7 月 18 日（火）、第 74 回・10 月 3 日（火）、

第 75 回・平成 30 年 3 月 13 日（火）

「子どもの歯・口・食の問題をめぐる育児支援ガイド」の編集、作成を協議した。

ii) 「子どもをタバコの害から守る」合同委員会（日本小児保健協会事務局）（3 回）

第 50 回・4 月 9 日（日）、第 51 回・8 月 20 日（日）、第 52 回・12 月 17 日（日）

各委員の活動報告。禁煙ポスター作成。

iii) 健康診査委員会（4 回）

第 16 回・4 月 16 日（日）、第 17 回・7 月 30 日（日）、第 18 回・11 月 26 日（日）

第 19 回・平成 30 年 2 月 24 日（土）

乳幼児健診を中心とする小児科医のための研修会 PartⅢについて

PartⅢ.第 3 回案内内容を確認。

「乳幼児健康診査 身体診察マニュアル」を作成した。

「先天性股関節脱臼遅診断例 0 を目指して」の活動報告を行った。

iv) 栄養委員会（3 回）

平成 29 年度第 1 回・4 月 16 日（日）、第 2 回・9 月 16 日（金）、

第 3 回・平成 30 年 1 月 20 日（土）

平成 30 年 1 月 20 日（土）「第 12 回子どもの食育を考えるフォーラム～授乳・離乳～」を開催した。

v) 発達障害への対応委員会（4 回）

第 19 回・4 月 27 日（木）、第 20 回・7 月 21 日（金）、第 21 回・10 月 19 日（木）、

第 22 回・平成 30 年 2 月 2 日（金）

中川栄二委員「発達障害とてんかん」（会内講演）

松田幸都枝委員「BCBA からみた自閉症療育の世界」（会内講演）

各学会や各団体が発達障害に関して設けている資格や制度に関する意見交換を行った。

- vi) 重症心身障害児（者）・在宅医療委員会（3回）
第14回・4月15日（土）、第15回・7月17日（月・祝）、第16回・11月26日（日）
各小委員会（人材育成、高度医療ケア児調査、中間施設調査、介護者負担調査、摂食・嚥下意識調査）報告。
- vii) 子どもとICT、子どもたちの健やかな成長を願って委員会（2回）
第1回・6月28日（水）、第2回・10月4日（水）
参加各団体の情報共有について話し合った。
参加各団体の来年の学術集会でのシンポジウム、講演会の実施を確認。
- viii) 小児・周産期災害医療対策委員会（2回）
第7回・5月19日（金）、第8回・平成30年3月2日（金）
熊本地震報告書・印刷に関して協議。
災害時小児・周産期リエゾン研修。小児領域・JMAT携行医薬品・物品の検討確認。

③関連団体会議

- i) 日本小児科学会小児慢性疾患委員会（1回）
第10回・6月23日（金）
小児慢性疾患の運用面での問題点を厚生労働省と協議中
- ii) 日本臨床分科医会代表者会議
第18回・8月24日（木）、第19回・平成30年2月1日（木）
新専門医制度の総合医、男女共同参画、各医会事業活動状況報告・情報交換
- iii) 風疹プロジェクト委員会 12月8日（金） 日本産婦人科医会会議室
- iv) 第20回児童虐待防止対策協議会 11月22日（水）厚労省会議室
- v) 日本医師会母子保健検討委員会（4回）
第4回・7月19日（水）、第5回・9月20日（水）、第6回・1月17日（水）、第7回・3月7日（水）
ア) 「周産期メンタルヘルスに関する最近の課題と対策」
三重大学保健管理センター 大学院医学研究系 岡野禎治先生
イ) 平成29年度母子保健講習会開催
- vi) 日本耳鼻咽喉科医会50周年式典・祝賀会
7月15日（土）京王プラザホテル
- vii) 早寝早起き朝ごはん全国フォーラム
主催：「早寝早起き朝ごはん」全国協議会（会長：有馬朗人 元文部大臣）
平成30年3月16日（金）国立オリンピック青少年総合センター

④公開フォーラムの開催

- 第9回子どもとメディア全国フォーラム「スマホ社会と子どもの育ち」の開催
日 程；2018年1月27日～28日
会 場；なみきホール（福岡市）
参加者；約550名（教育関係186名、NPO関係124名、医療関係88名、行政関係63名、福祉関係18名、企業11名、報道8名、その他）
主 催；NPO 子どもとメディア
共 催；日本小児科医会、福岡市教育委員会
後 援；日本医師会、福岡県、福岡市PTA連合会、北九州市PTA連合会、福岡県公立高等学校PTA連合会、福岡県私学協会、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK福岡放送局。

⑤日本小児科医会 2018 年カレンダー作成、会員配布

1 0 . 広報委員会

(1) 普及啓発及び支援事業

1) 機関誌発行等事業

①日本小児科医会会報の発行（年 2 回）

i) 会報第53号を発行（平成29年4月30日）6300部作成

特集1「子どもとメディアの問題を考える」

特集2「第12回日本小児科医会生涯研修セミナーから（佐賀市）」等を掲載した。

ii) 会報第 54 号を発行（平成 28 年 10 月 31 日）6300 部作成

特集1「第28回総会フォーラム（富山）」

特集2「第6回日本小児科医会乳幼児学校保健研修会（丸の内）」

テーマ「クリニックで、地域で、安心な子育てを支える」等を掲載した。

②医会ニュースの発行（年 2 回）

i) ニュースNo.64を発行（平成29年8月31日）6300部作成

定時総会、第28回総会フォーラム（富山）、理事会の議事、ブロックニュースなどを掲載した。

ii) ニュース No.65 を発行（平成 30 年 1 月 15 日）6300 部作成

執行部の年頭所感、委員会の最近の話題、ブロックニュース

自見はなこ参議院議員の挨拶「新しい年を迎えて」などを掲載した。

③日本小児科学会学術集会での広報活動

第 120 回日本小児科学会学術集会（東京都品川区、4 月 14 日～16 日）の日本小児科医会ブースにて、日本小児科医会報、医会ニュース、入会申込書地域総合小児医療認定医制度（資料）などを展示、配布した。

④医会会報への査読制度の導入

医会会報第 55 号（平成 30 年 4 月発行）から会報査読制度導入、原著受け入れを開始。

1 1 . ホームページ委員会

(1) 普及啓発及び支援事業

1) HP を原則週 1 回更新し、日本小児科医会の事業、セミナー・研修会、小児科関連事業などについて広報

2) HP 内の会員のページを改訂し、平成 29 年 7 月に公開した。

会員へのお知らせ、セミナー・研修会情報、会報・医会ニュース、委員会ニュースなどを掲載

3) HP トップページを改訂し、医会からのお知らせ、小児科関連情報、セミナーカンファレンスに分類し、今までの情報を解りやすく年度別に整理した。委員会活動も解りやすく公開するためメンバーの写真や活動内容について掲載した。また、書類や文書などもまとめ利用しやすくなるよう改善

4) HP 上でアンケートを 1 回実施した。実施できる機能や将来的には WEB 会議なども視野に入れ HP 会員サイトを充実させるよう検討中

5) 委員会開催

①平成 29 年度第 1 回ホームページ委員会報告

平成 29 年 6 月 11 日（日）ANA クラウンプラザホテル富山 4F

議事：

現在会員約 6000 人の内、メールアドレスを獲得できているのは約 600 人

i) メールアドレス登録についての意見交換

メールアドレス登録でどのようなメリットがあるかを明示して、登録を誘導する。

ii) 内容の充実について

医会の会員が役に立つ情報を載せる。委員も分担して情報を集める。

セミナーなどの動画配信もおこなう。

会長の活動報告（面会等）、動向等、各委員会委員会情報なども積極的に掲載する。

アンケート機能も使用可能

iii) 新会員サイトの開始時期について

②平成 29 年度第 2 回ホームページ委員会報告

平成 29 年 12 月 10 日（日）和光堂西新宿ビル

・報告事項：

会員ページ開始：現在メールアドレス登録人数 1117 名

アンケート実施：アンケート実施の更なる周知が必要。

・審議事項

i) ホームページ更新回数等

ii) 掲載内容について

ア) 掲載場所について（一般ページ、会員ページの基準）

・お知らせは基本的に一般ページに載せて、会員ページのお知らせは、会員のみへの情報（セミナー内容、動画、会員情報など）

イ) 「小児科関連情報」記事選択の基準

・正確性と迅速性のバランスに考慮

ウ) 各種ガイドラインの掲載について

・先ず小児科臨床に掲載されたガイドラインを掲載して、適宜追加削除する

エ) その他、情報の整理

③会員ページの活用方法

④会員ページ閲覧のための会員登録勧奨 現在約 1,117 名

⑤ホームページでのアンケートについて

⑥ HP の表示や改良点

1 2 . 地域総合小児医療検討委員会

(1) 調査研究事業

事業名称：地域総合小児医療認定医制度の本制度の策定

地域総合小児医療検討委員会を 4 回、日本小児医療連絡協議会地域総合小児医療連絡協議会を 3 回開催し、認定医の質と資格について検討し、認定医制度の本制定とその到達目標を明らかにし、必要な研修、実践について研究した。将来の地域小児医療の向上のために、地域での小児の医療・保健・福祉のためのスペシャリストを育成するための認定医制度の策定とそのための指導者の養成を目指し、地域総合小児医療認定医本制度の規定及び細則を作成した。

(2) 学術集会及び研修会事業

事業名称：地域総合小児医療認定医指導者研修会の開催

地域総合小児医療認定医を維持していくために指導医となるための指導者研修会を開催した。

平成 29 年 11 月 25 日（日）会場：JA 共催ビルカンファレンスホール（参加者 119 名）

- 学校運動器健診の意義と有効性について あらい整形外科 新井貞夫 先生
- 地域総合小児医療認定医本制度と認定更新について 担当理事 佐藤好範 先生
- ヘルス・スーパービジョンの第一歩としての“1 か月健診”を考える たはらクリニック 田原卓浩先生

（3）普及啓発及び支援事業

事業名称：日本小児連絡協議会地域総合小児医療連絡協議会の開催。地域総合小児医療暫定認定医の認定。

小児医療に関わる医師に地域総合小児医療について理解と、研鑽の必要性を啓発した。日本小児連絡協議会での地域総合小児医療連絡協議会を通じて、広く小児医療に関わる団体と協働して、地域総合小児医療の普及と啓発を諮った。

日本小児科医会地域総合小児医療認定医制度は暫定制度開始後 3 年間で 984 名の地域総合小児医療認定医を認定した。将来の地域小児医療を支える人材を認定した。

II. 法人事業

1. 各種会議の開催

- | | | |
|------------------------------|-----------------------|-------------------------|
| （1）定時社員総会 | 6 月 1 0 日（土） | 富山国際会議場（平成 29 年度） |
| （2）理事会（5 回） | 5 月 2 1 日（日） | 和光堂西新宿ビル（平成 29 年度第 1 回） |
| | 6 月 1 0 日（土） | 富山国際会議場（第 2 回） |
| | 9 月 1 0 日（日） | 和光堂西新宿ビル（第 3 回） |
| | 1 2 月 1 0 日（日） | 和光堂西新宿ビル（第 4 回） |
| | 平成 3 0 年 3 月 1 1 日（日） | 和光堂西新宿ビル（第 5 回） |
| （3）総務会（3 回） | 7 月 3 0 日（日） | 和光堂西新宿ビル |
| | 1 1 月 5 日（日） | 和光堂西新宿ビル |
| 平成 3 0 年 | 2 月 4 日（日） | 和光堂西新宿ビル |
| （4）監査（業務） | 4 月 2 3 日（日） | 和光堂西新宿ビル |
| （5）都道府県小児科医会会長全国会議：4 2 会長ご出席 | 1 0 月 7 日（土） | 仙台江陽グランドホテル |
| | 1 1 月 5 日（日） | 和光堂西新宿ビル |

2. 内藤壽七郎記念事業

平成 29 年度（第 14 回）は 保科清先生（前日本小児科医会会長）、知念正雄先生（沖縄県小児科医会）に「内藤壽七郎記念賞」贈呈。

3. 会員の入退会

会員数 5534 名（A 会員 3444 名、B 会員 2083 名、個人賛助会員 7 名）

入会者 186 名、退会者 336 名、復会者 11 名（平成 30 年 3 月 31 日現在）